



# 探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team



令和3年  
10月18日  
(月)  
No.6

## 〇後期スタート、校外での学習も本格始動です！



後期が始まりました。それぞれのグループで工夫を凝らした導入の授業を経て、児童生徒は課題を自分ごととして捉え、意欲をもって探究学習に臨んでいるようです。先生方の努力のたまものですね。導入時の成果と課題について、10月7日(木)の校内研修で交流しました。以下にまとめておくので、他のグループとも意見交換を行い、よりよい探究的な学習を模索していきましょう。

グループ	プロジェクト名	導入を終えて・成果と課題
小学校 1・2年生	ふくとみいいね！ おしえたい！	成果 ・子ども園の先生のビデオを見せたことで、相手意識をもたせることができ、意欲喚起もできた。 課題 ・ペアやグループで話し合う練習が必要。 ・新たな疑問を見付けていくことが難しい。
小学校 3・4年生	福富の自然 守り隊	成果 ・学級園の枝豆の犯人を捜す活動を通して、狙い通り福富の自然が豊かではないのかもしれないという意識をもたせることができた。
小学校 5・6年生	夢の実現 プロジェクト f	成果 ・人口減少や転入・転出者についてのデータをグラフにして見せることで、疑問や課題をもつことができた。 課題 ・異学年での話し合いの仕方に課題が見えた。
中学校 1・2年生	福富再発見！	成果 ・導入を丁寧に行ったことで、意欲喚起につなげることができた。 課題 ・生徒の反応が読み切れないところがあったので、軌道修正を行った。
中学校 3年生	福富提言	成果 ・これまでの学習の振り返りや資料の読み取り等から、様々な立場からの課題解決に対する意欲をもたせることができた。 ・話し合いの時は自分の意見をしっかりもち、活発に意見を交流することができた。

児童生徒の振り返りもご覧ください！課題解決に向けた子ども達の熱意が伝わってきますね！

1・2年生<9月16日(木)> ・ほいくえんあおぐみの ひとに いわれたことが むずかしかったです。でも、**がんばって やりたいと おもいました。**

・ミッションを できるように なるまで がんばる。ミッションを **みんなで ちからをあわせて できるように なる。**

・青ぐみさんを みたのが たのしかった。**おしえてあげよう、小学校の べんきょうのこと。**

3・4年生<9月15日(水)> ・すすんで発表や、手をあげることができた。えだ豆の葉を食べたはん人のこんせきをさがした。しかのふんを見つけた。**次はしかがえだ豆を食べるのか調べたい。**

・みんなといっしょに、手がかりになりそうな写真をいろいろとることができた。**次は手がかりをたよりに、とく定させたい。** ・福富の森は人間にはゆたかだけれど動物にはゆたかじゃない。雨でながされたり土しゃくずれで山がくずれたりするから。

5・6年生<9月24日(金)>

・自分が育った町がなくなるのはすごく悲しいから、**私も福富町のために魅力などを伝えたりできるこ**

とをしたいなと思いました。60年前は今の人口の倍だったけれど、すごく減っているから、**60年後に人口「0」にならないように頑張りたいです。**

・福富は田舎で森ばかりだけれど、それが都会の人たちにとっては新鮮なんだと思った。だから、**最初は山を切り開いて都市化すれば？**と書いていたけれど、**自然を活かした街づくりもいいな**と思った。

・6年生さんと話せたし、自分の意見を発表できたのでよかったです。そして**未来の福富町を、私は残したいし作りたいたい**なと思いました。

中1・2年生<9月17日(金)>

・福富の魅力は、みんなで考えてみると、私が思っていたよりも多くてびっくりした。**これからも日々生活していく中で、福富の魅力を探してみたい。**

・福富の魅力は自然だけでなく、カドーレや道の駅などの場所やイベントなど、本当にたくさんありました。**他の地域の人にも魅力を知ってもらって、福富を好きと感じる人がもっと増えてほしい**と思った。

・思ったより道の駅に人が来ていて驚いた。**道の駅に来てくれた人に、道の駅以外の魅力を知ってもらい、それを広めてもらえれば、もっと人が増えるのかもしれない**と思った。

中3年生<10月1日(金)>

・福富の未来について考えたが、人に知ってもらうことや人口を増やすという意見が多く、自分もこれまではそのような考えだった。しかし、**そうやって考えている人は多いのに、結局繋がっていない(そうっていない)**ということは、**もっと違う視点も交えて考えることが大切だ**と思った。

・福富をどのような姿で残していきたいかや、そのためには何をしていけばいいのかを具体的に考えることができた。話し合ってみて、**自分が思うことと他の人が思う残し方の違いがあるから、その違いも大切に、みんなが住みたいと思う町になればいい**と思った。

・今日改めて人口の数値をみたら、福富町の課題点にされている理由がよく分かったし、**いろんな課題点を解決するのも、福富町の良さを生かした方法が大切になってくるんだ**と思った。

## これからの予定



〇11月4日(木) **全員参加**

第3回研究推進協議会

義務教育指導課(県) 小坂指導主事来校

東広島市教育委員会 花岡指導主事来校

〇冬季休業中 3日間終日

ドリームマップ理論研修 **FITのみ**

1・2年生 1年生は小学校、2年生は道の駅について、調べたいことや質問をまとめ、探検へ！

3・4年生 賀茂森林組合の方に協力していただき、福富の森や川の状況を調査していく。

5・6年生 関心をもっている方々に話を聞き、何を魅力として発信していくか考える。

中1・2年生 体験型施設、集客型施設、特産品、花、自然(山)、自然(水)に分かれ、探究を進める。

中3年生 各自、テーマを設定し、仮説を立てて検証していく過程を、具体的に計画・立案する。

## 先達の言葉

変化こそ唯一の永遠である。

岡倉天心(芸術家)

後期に入り、地域の専門家の方々へ協力していただく授業が、本格的にスタートします。綿密に計画を立てたとしても、子ども達の感性が自分達の想像を軽々と超えていくこともあるかもしれません。そのときに、子ども達のワクワクを引き出すことができるよう、柔軟に対応していきたいですね。困ったら声に出してみてください。みんなで課題を解決していきましょう！